

製品環境法規制セミナー

【中級レベル】

セミナー開催報告

2025年3月7日（金）、SEAJ 環境情報専門委員会ではエンバイロメント・ジャパン(株) 玉虫完次氏、SGS ジャパン(株) 松本 宇生氏（環境情報専門委員長）・大内 幸弘 氏の3名の講師をお招きして、米国・中国・欧州における製品環境法規制をテーマとしたセミナーを開催いたしました。

今年度も遠方の方でも聴講可能なオンライン形式での開催とし、当委員会の委員および事務局も加えると合計で186名の参加となりました。

1. セミナー概要

- § 1. 米国化学物質規制の最新動向と企業対応
～ TSCA 申請の留意点から PFAS 問題、スーパーファンド法まで～
エンバイロメント・ジャパン(株) 玉虫 完次 氏
- § 2. 中国における環境法規制の最新動向2025
SGS ジャパン(株) 松本 宇生 氏
- § 3. 欧州の POPs、REACH、F-gas、電池規則他
SGS ジャパン(株) 大内 幸弘 氏
- § 4. Q&A

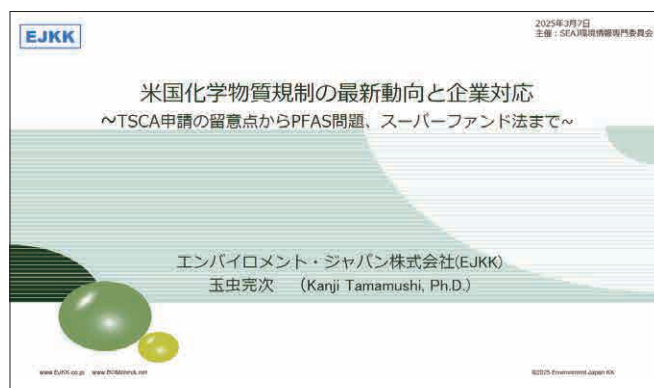
2. セミナー当日の様子

まず、エンバイロメント・ジャパン(株) 玉虫氏による「米国化学物質規制の最新動向と企業対応」では、米国における環境法規制の体系や、最新の規制動向についてなどの概要をはじめ、各法規制のご説明をいただきました。

TSCA（有害物質規制法）に関しては、PMN（新規化学物質）、LVE（少量免除）等の申請時の留意点について申請方法も交えてご説明いただき、PBT 物質と PFAS の動向についても触れていただきました。

スーパーファンド法は、なぜ PFAS が米国で社会的な問題になっているのかという観点から、規制内容についてご説明をいただき、スーパーファンド法による日本企業の訴訟リスクについても解説を行っていただきました。

次に、SGS ジャパン(株) 松本氏による「中国における環境法規制の最新動向2025」では、中国における製品含有化学物質法規制について、各法規制の概要をご説明いただきました。



セミナー資料表紙



講師

(左から)

エンバイロメント・ジャパン(株) 玉虫 氏
SGS ジャパン(株) 松本 氏、大内 氏



セミナー関係者一同

中国版 RoHS に関しては、2026年1月より規制物質の増加と新たな表示ルールへの対応が必要なことなど、規制更新に伴い日本企業が対応すべき内容について、具体的に分かりやすく解説していただきました。

中国版 POPs と呼ばれる重点管理新汚染物リストについては要求事項や最新の物質リストに関して、国家標準 (GB) については体系の解説、化学品の取扱い (SDS 等) に関する GB の改定に関してなどのご説明をいただきました。

最後に、SGS ジャパン(株) 大内氏による「欧州の POPs、REACH、F-gas、電池規則他」では、欧州における多様な法規制について、幅広くご説明をいただきました。

POPs 条約および EU POPs 規則に関しては、現在の状況と今後の動向について解説いただき、REACH 規則については、改正予定の内容や、特に PFAS に関する制限提案の現状と今後の動きに関してご説明を行っていただきました。

その他、F-gas 規則や電池規則に関しても、要求事項を整理していただき、新たな追加要件を把握しやすい解説をしていただきました。

米国・中国・欧州と様々な地域の製品環境法規制について、それぞれのテーマに関する専門知識や豊富な知見をお持ちである講師の方々にご説明をいただきました。

聴講者の皆様には、法規制改正の変更点についてなど実務に役立つ具体的な解説から、各地域の様々な法規制に関する概要説明、最新の動向把握まで、環境製品法規制に関する幅広い情報を掴んでいただく機会になりました。

3. アンケート結果

セミナー終了後、聴講者の皆様にアンケートを Web 経由で実施し、ご回答に加え感想やご要望も多数いただきました。一部ではありますが、アンケートの集計結果を以下に示します。

Q1) 本日のセミナーは参考になりましたか？

(数値 (%) は“参考になった”および“まあ参考になった”の合計割合)

- ①米国化学物質規制の最新動向と企業対応
～ TSCA 申請の留意点から PFAS 問題、スーパーファン
ド法まで～ 97%
- ②中国における環境法規制の最新動向2025 99%
- ③欧州の POPs、REACH、F-gas、電池規則他 93%

このように、いずれのテーマも全体の9割以上の聴講者の方から参考になったとの評価をいただきました。

Q2) セミナーに関する感想、ご要望

代表的な感想、ご要望を以下に示します。

- ①ご感想
 - ・米国化学物質規制の最新動向と企業対応がわかった。
 - ・PFAS 問題についてポイントが記載されており勉強になった。
 - ・中国の規制に関しては判りづらいところがあるので、詳しく解説いただけて良かった。
 - ・新旧の変化点や、基本事項が分かりやすく整理されており、何をすべきか考えやすかった。
 - ・REACH、RoHS、POPs と広く解説されており流れをつかみやすかった。

・欧州の最新情報が知れて参考になった。

②ご要望

- ・新規に規制のかかる化学物質や法規制のセミナー
- ・POPs 禁止物質指定後の各国の対応案、対応状況及び業界の対応に関する定期的な情報
- ・POPs のみで1テーマとするなど、一つのテーマに関して時間をかけた詳細なセミナー
- ・EU の電池規則関連や包装規則関連
- ・韓国、台湾、インドなど、他の地域における環境法規制についてのセミナー
- ・中小企業向けの環境法令についての調査方法・データ管理方法などの事例紹介

上記の通り、新たな化学物質規制の最新動向に関する情報に加え、POPs などテーマを絞って詳しく解説するセミナーや、海外の特定地域に特化したセミナー、他社事例紹介など実務に直接参考になる情報など、幅広いご要望をいただきました。いただいたご感想、ご要望は次回セミナーのテーマ検討にあたり非常に貴重であり、真摯に受け止めております。

講師の方々には各テーマについて、専門的かつ理解しやすいご講演をいただきました。各地域の様々な法規制に関する幅広い解説を含んだ資料は、情報が整理された非常に有用な内容でした。アンケート回答でも「簡潔にまとめられており、わかりやすかった」との意見もあり、評価いただけたと考えております。

なお、基礎的な内容をご要望の際は、今回の製品環境法規制セミナーの他に、毎年 JVIA ((一社) 日本真空工業会) と合同で環境セミナーを開催しておりますので、そちらへの参加もご検討ください。

今後とも会員企業皆様のご意見、ご要望を基に、セミナー等を企画していきたいと考えております。ご意見、ご要望は SEAJ 事務局までお知らせください。

(環境情報専門委員会 株式会社荏原製作所 ^{しばた} 柴田 ^{えみ} 恵美)